

# ひふみのあゆみ



ひふみワールド

ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

## 2022年11月度 月次ご報告書

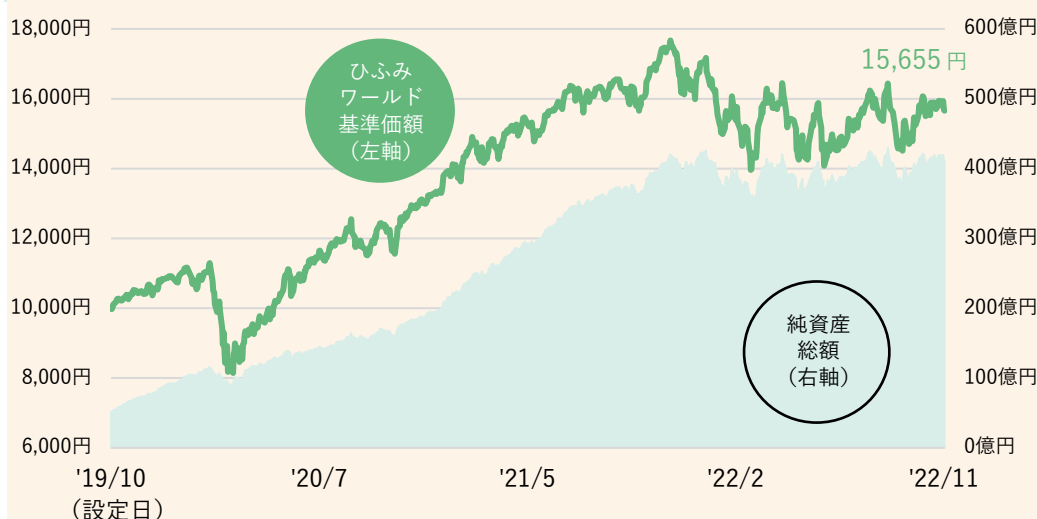
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2022年11月30日

### 運用実績

#### 基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、アメリカには米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

#### 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	-2.60%	0.78%	2.53%	-7.31%	46.62%	56.55%

#### ひふみワールドの運用状況

基準価額	15,655円
純資産総額	410.83億円
受益権総口数	26,242,386,554口

#### ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.46%
現金等	-0.46%
合計	100.00%

#### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

第3期	2022年2月	0円
第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

#### 基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -418円

〔内訳〕

株式・投資証券	+542円
アメリカ	+247円
欧州	+161円
アジア・オセアニア	+134円
その他	+0円
為替	-938円
米ドル	-838円
ユーロ	-40円
香港ドル	-13円
その他	-47円
信託報酬・その他	-22円

## 資産配分比率などの状況

### ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 2,795.94億円

組み入れ銘柄数 198銘柄

### 資産配分比率

海外株式 95.75%

海外投資証券 1.22%

現金等 3.03%

合計 100.00%

### 時価総額別比率

10兆円以上 26.44%

1兆円以上10兆円未満 52.03%

3,000億円以上1兆円未満 15.99%

3,000億円未満 2.50%

### 組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 68.35%

2 フランス 4.87%

3 ドイツ 4.32%

4 スイス 2.73%

5 中国 2.53%

6 イギリス 2.26%

7 イタリア 1.90%

8 オランダ 1.90%

9 台湾 1.61%

10 オーストラリア 1.50%

### 組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 74.21%

2 ユーロ 10.84%

3 イギリス・ポンド 2.13%

4 スイス・フラン 1.92%

5 台湾ドル 1.61%

6 オーストラリア・ドル 1.50%

7 香港ドル 1.38%

8 中国元 1.32%

9 デンマーク・クローネ 0.85%

10 スウェーデン・クローナ 0.69%

### 組み入れ上位10業種 比率

1 資本財 18.16%

2 ソフトウェア・サービス 13.12%

3 小売 8.33%

4 食品・飲料・タバコ 6.89%

5 各種金融 6.58%

6 半導体・半導体製造装置 6.48%

7 自動車・自動車部品 6.12%

8 耐久消費財・アパレル 4.81%

9 商業・専門サービス 4.15%

10 ヘルスケア機器・サービス 3.78%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



## 銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
	(銘柄名カナ)	銘柄紹介			
1	TETRA TECH, INC (テトラ・テック)	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.29%
	経営コンサルティングとエンジニアリングサービスを提供する企業で、事業内容は主に水、環境、インフラ、資源管理、エネルギー、および国際開発サービスに注力。世界各地の政府・法人向けを顧客として事業を展開している。				
2	DEERE & CO (ディア)	アメリカ	米ドル	資本財	2.26%
	世界的な農機、建機メーカー。特に大型の農機で世界的に高いシェアを有する。肥料供給不安はあるものの、農産物価格の高位安定は農家のセンチメントや収入の改善を通じて農機の買い替え需要を喚起するものと考えられる。				
3	TJX COMPANIES INC (T J Xカンパニーズ)	アメリカ	米ドル	小売	1.94%
	TJ Maxx、Marshalls等の複数のオフプライス小売りチェーンを展開する米国1位の企業。欧州など海外でもオフプライス事業を展開している他、雑貨に特化したHomeGoodsも展開しているのも特徴。オフプライスとは、カルバンクラインなどの米国系を中心とした有名アパレルブランドの衣料品や雑貨を格安で販売する業態。ブランドの自社店舗や百貨店等のフルプライス業態からシェアを奪うことで成長を続けている。				
4	FERRARI NV (フェラーリ)	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	1.81%
	高級スポーツカーを設計・製造。高単価・少量生産のニッチラグジュアリーブランド。個別の顧客ニーズに合わせたカスタマイズ製造が特徴的。景気後退局面でも超富裕層のニーズは底堅く推移。				
5	LVMH MOET HENNESSY-LOUIS VUITTON SE (L V M H モエヘネシー・ルイヴィトン)	フランス	ユーロ	耐久消費財・アパレル	1.76%
	ラグジュアリーブランドのグループ企業。かばんや化粧品、香水、時計・宝石類、ワインなどの高級品を扱う数多くのブランドを所有。業績貢献度が高いブランドとしてルイヴィトン、ディオール、ティファニーなどがあり、景気後退期においても需要が安定的な傾向がある。				
6	THE HERSHEY CO (ハーシー)	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.64%
	米国の大手菓子メーカー。高価とは言い難い価格設定と、高いブランド忠誠度が合わさって、原価の上昇以上に販売価格を引き上げても高い需要が維持できる稀有なブランド。				
7	MTU AERO ENGINES AG (MTUエアロ・エンジンス)	ドイツ	ユーロ	資本財	1.59%
	航空機エンジンの主要部品の製造販売を行なう他、メンテナンス、修理、オーバーホール（MRO）サービスなどを提供。航空需要の回復初期に高まる航空機のMRO需要の他、ドイツの防衛予算増大の恩恵も受けられる銘柄。				
8	WORKDAY, INC (ワークデイ)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.43%
	企業向けに人事、財務管理、給与等のバックオフィス業務を効率的に行なえるように設計・開発されたソフトウェアをクラウドベースで提供する企業。事務効率を上げる企業のDX化投資の中で恩恵をうけやすい企業のひとつであり、利益拡大が期待される。				
9	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG (ポルシェ)	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	1.37%
	高級スポーツカーを設計・製造。大手自動車グループフォルクスワーゲン社の傘下にあったが、2022年9月に独立・上場。フェラーリやランボルギーニなどの超高級・ニッチラグジュアリーブランドと比較すると若干低単価・大量生産というポジショニング。台当たり単価に加え車両数量を通じた成長を目指す。				
10	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC (ケイデンス・デザイン・システムズ)	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.36%
	ソフトウェア会社。EDAと呼ばれる半導体開発用のデザインソフトウェアの世界最大手の一角であるほか、半導体の設計とその知的財産権の販売も行なう。				

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

## 銘柄紹介（2022年8月31日時点）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	DEERE & CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.90%
2	MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	1.55%
3	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.46%
4	TYSON FOODS, INC	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.41%
5	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	1.38%
6	WORKDAY, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.37%
7	THE HERSHEY CO	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.33%
8	ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.32%
9	BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	食品・生活必需品小売り	1.27%
10	AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	小売	1.25%
11	SERVICENOW INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.25%
12	LVMH MOET HENNESSY-LOUIS VUITTON SE	フランス	ユーロ	耐久消費財・アパレル	1.20%
13	TJX COMPANIES INC	アメリカ	米ドル	小売	1.14%
14	BILL.COM HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.13%
15	CARRIER GLOBAL CORPORATION	アメリカ	米ドル	資本財	1.12%
16	BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC	カナダ	米ドル	各種金融	1.10%
17	LAMB WESTON HOLDINGS, INC	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.08%
18	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	香港ドル	小売	1.06%
19	TEXAS INSTRUMENTS INC	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.05%
20	MACQUARIE GROUP LTD	オーストラリア	オーストラリア・ドル	各種金融	1.01%
21	ROSS STORES INC	アメリカ	米ドル	小売	0.96%
22	ROCKWELL AUTOMATION, INC	アメリカ	米ドル	資本財	0.93%
23	OPTION CARE HEALTH INC	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	0.93%
24	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	0.93%
25	DASSAULT AVIATION	フランス	ユーロ	資本財	0.90%
26	HESS CORPORATION	アメリカ	米ドル	エネルギー	0.89%
27	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	0.88%
28	OTIS WORLDWIDE CORPORATION	アメリカ	米ドル	資本財	0.88%
29	AMERESCO, INC	アメリカ	米ドル	資本財	0.86%
30	INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	0.84%

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。  
 ※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。  
 ※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +4.69%

米ドル／円の推移



当月騰落率 -6.33%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 -2.72%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 -5.88%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを基に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



## 眠られぬ株は持つな

### 相場の分岐点？

今年も残すところあと1ヶ月となりましたが、米国株式市場は経済指標と金利見通しに一喜一憂を繰り返しています。一部経済指標でインフレ進行の落ち着きが見られ、FRB（連邦準備制度理事会）の金融引き締め政策一服への期待から株式市場は上昇に転じましたが、金利転換期待がドル円レートを130円後半の円高へと一気に巻き戻すきっかけとなり、ひふみワールドの11月のパフォーマンスは2.60%の下落という厳しい結果となりました。

インフレ圧力退治への姿勢を崩さないFRBの急ピッチの金利引き上げ政策と、それによる景気後退への突入が懸念されていることについてこれまでお伝えしてまいりました。それらに対してパウエルFRB議長は直近行なわれた講演において、①金融政策はタイムラグを持ってインフレと経済に影響を与える、②しかしこれまでの引き上げの効果は直ちに出ているわけではない、③ただインフレを低下させるために必要な金利水準に近づけば利上げペースの鈍化もあり得るとし、早ければ12月の会合において利上げのペースを落とす可能性について言及すると同時に、過熱する経済の軟着陸に関して自信を示しました。今回の講演では急速な利上げによる経済の大幅な悪化に対する警戒感も表明していることから、これまでの「とにかくインフレ退治のためなら急激な金利引き上げも止む無し」という強いスタンスから少しトーンが変化したようにも見受けられます。

さて師走は金融市場の来し方行く末と翌年のポートフォリオ構築を考える時期です。そのポイントは金利と景気の「捉え方」にあります。パウエルFRB議長が次回FOMC（連邦公開市場委員会）（12月13・14日開催）において利上げペースを落とすことに触れたことから、これまで長らく続いていたグロース株（企業の売上や利益の成長率が高く、今後の株価上昇が期待される銘柄）への過度な売り圧力が一旦和らぐことが予想されます。しかし景気後退懸念そのものが完全に払拭されたわけではなくその長さや深さへの懸念も依然残り、実際にディスカウントストアなど生活防衛企業の業績が好調です。以上より高い成長性とバリュエーションの両立するグロース株、また景気に左右されない顧客基盤を持つラグジュアリー企業群やIRA（インフレ抑制法案）やChips Act（半導体法案）等の政策を収益機会に出来る資本財企業群に注目しています。

引き続き運用チーム一同、全力を尽くし皆様からお預かりした大切な資産を増やすべく努めてまいります。ひふみワールドをどうぞよろしくお願いたします。

(12月2日)



代表取締役副社長  
未来戦略部長  
ひふみワールド運用責任者  
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。



## 潮目の変化、下落相場⇒底入れ⇒上昇相場

## 物価沈静化と米金融政策の転換が引き金に

2022年の年の瀬が近づいてきましたが、世界株の6割（MSCI ACWIベース）を占める米国株が下落（弱気）相場を演じ、世界株式市場は調整色の強い1年となりました。欧米を中心に主要国は40年ぶりの物価高騰に見舞われ、これを抑制するための強硬な金融引き締め政策、金利急騰が株安の主因とみられます。セクターやグループ別では、コロナ禍とそれに対処するための大規模金融緩和や財政出動などによって昨年（2021年）まで大幅高を演じた情報技術などの成長株が一転、急落になりました。一方、エネルギーなど市況関連株の上昇が際立ちました。

2023年の世界株を占う上で、第一に米国の物価と金融政策がカギを握るとみられます。米国の金融政策は、1980年代半ば以降で最強硬の引き締りを断行していますが、足元、逼迫していた労働需給の緩和、景気や物価上昇率の減速など引き締め効果が顕在化しはじめています。12月のFOMC（連邦公開市場委員会）で利上げ幅の縮小に動き、23年春頃には利上げ停止に向かう可能性が高まってきているように推察されます。物価の鈍化次第ですが、23年4Q以降、利下げ議論が本格化すると予想します。半面では、米国景気が減速から後退局面入りの可能性が高まってくるとみられますが、世界的な金融危機などに発展しなければ、景気後退に入るとしても「浅い後退（マイルドリセッション）」にとどまるとみられます。

加えて、金融引き締め下で、世界景気と企業収益の減速・落ち込みがどの程度になるのか注目されます。米国などの金融政策の転換（利上げ幅縮小⇒利上げ停止⇒利下げ）は株価の押し上げ要因とみられますが、世界景気や企業収益の悪化は株安要因になりそうです。23年は両者のバランスとその見極めが非常に重要になると思います。おそらく年前半（特に1Q）は株高要因と株安要因が綱引き、拮抗する可能性が高く、米国株をはじめ世界株はもみ合い（底値形成）とみますが、年央頃から年末に向けて株高要因（金融緩和期待）が優る展開をベースシナリオと予想します。

注目される上ブレシナリオは、①米国の物価沈静化が急進展し（物価目標達成の前倒し）、早期の金融緩和と同時に、景気や企業収益が底堅く（落ち込み軽微）推移、②露宇戦争の早期終結などで、エネルギー価格が一気に軟化し、世界の長期金利が大幅低下、などが挙げられます。一方、下ブレシナリオは、中国経済の失速や欧州経済の一段の悪化、金融ショックなどを引き金に世界景気が深刻なリセッションに陥るケースなどが挙げられます。

日本の経済面では経済再開とインバウンドの本格回復、企業の設備投資の積極化など明るい兆候が増えそうです。一方で、岸田政権の内閣支持率が大幅に下落し、足元、政権の求心力が低下しています。国政選挙ではありませんが、23年4月の統一地方選挙が注視されそうです。また、日銀の黒田総裁の任期が4月8日です。総裁交代前後で日銀の金融政策に関する転換観測が広がると同時に為替の円高圧力が強まる可能性があります。政治の不安定化や金融政策の転換・円高観測は日本株にとって一時的な波乱要因になる可能性があります。

世界株は、大勢的に下落相場が終了し、23年は底入れ⇒上昇相場へ移行すると予想します。市況変化の物差しになるような目印として上述の「米金融政策の転換」が焦点になりそうです。

(12月2日)

## 運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。  
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

### 今月のトピック

サッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会では、日本は初戦でドイツに逆転勝利を取りましたが、第2戦では後半に失点を許してコスタリカに敗れました。  
これまで経験した逆転勝利や惜しくも負けを許してしまった出来事があれば教えてください。



Fujino Hideto  
藤野 英人  
代表取締役会長兼社長  
最高投資責任者

人事を尽くして天命を待つ、という言葉の通り、準備を重ねて挑戦して、結果を受け止めることが大事ですね。実力があっても失敗することがありますが、実力がないと勝てる見込みが少なくなります。とにかく、努力の総量を上げることにいつも心がけています。



Yuasa Mitsuhiro  
湯浅 光裕  
代表取締役副社長  
未来戦略部長

逆転勝利や惜敗ということを意識したことがありません。自分に対する勝負としてはいつも五分五分を目指しています、五分五分でおおむね良好であれば良いと思っています。



Watanabe Shota  
渡邊 庄太  
運用本部長  
株式戦略部長  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

やや不振だったあるファンドの決算期直前に、保有銘柄の業績上方修正のおかげで一気に運用成績が持ち直してくれたことがありました。スポーツではありませんが、嬉しい思い出のひとつです。



Yatsuo Hisashi  
八尾 尚志  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

テニスにかなり真剣だった大学生の頃の話です。5セットマッチの3セット先取の試合で2セットを先に取られた上にマッチポイントまで握られほぼ負けが確定というところまで追い込まれたのですが、対戦相手のダブルフォルトで流れが変わり、そこから息を吹き返して残り3セットを一気に取り返して4時間近い試合を制したことは今でも覚えています。もっとも翌日の試合は疲労からあっさりと負けました 笑



Sasaki Yasuto  
佐々木 靖人  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

分からなかったことが分かるようになった時、出来ないことが出来るようになった時、至高の喜びがあります。勝利かどうかは分かりませんが、分からない時や出来ない時は敗北感があります。



Wei Shanshan  
韋 珊珊  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

子供時代に、ステージに立つと緊張して頭真っ白になる自分が、大学のスピーチコンテストで何回も受賞したこと。就職活動時に、就職コンサルから「金融は向いていないだろう」と言われたものの、ずっと金融業界で働かせていただいていること…などなど。勿論、失敗例も数え切れないほどあります。人生は常に不思議で意外な出来事に溢れているので、これからも固定観念に縛られずに、希望を抱きながら、楽しくチャレンジし続けていきたいと思っています。



## 運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo  
高橋 亮  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

受験生の頃の僕は得意科目ばかり勉強し苦手科目は全無視するというありえないことをしていました。おかげで英語と数学だけが異常に点数が高く、それ以外がだめでも模試でA判定を連発していましたので、それで行けると信じていました。ところが、京大入試本番では試験当日特有の緊張感と焦りから得意科目のはずの数学で全滅してしまい京大に行くことはかないませんでした。試験会場を出た瞬間にあふれるように数学の解法を思いついたあの瞬間の屈辱を今でも覚えています。ポートフォリオも人生もバランスが大切です。



Senoh Masanao  
妹尾 昌直  
シニア・アナリスト

強く記憶に残るほどの逆転勝利も惜敗もないですが、勝ちに不思議の勝ちあり負けに不思議の負けなしという事で、日々自分の至らなかつた点については、アナリストらしく原因を分析しながら良い結果を積み重ねることができるとしていきたくと思います。



Oshiro Shintaro  
大城 真太郎  
シニア・アナリスト

中学高校所属していた卓球部で、私が唯一優勝した大会の、男子シングルス準々決勝。  
セットカウント0-2、スコア8-10とマッチポイントまで追い詰められた場面。防戦一方の展開で、守っても仕方ないと開き直り、ハイリスクなプレーで逆転勝利したことは今でも鮮明に覚えています。  
社会人としてのキャリアも、守りに入ってはいけないと、過去の自分が語り掛けているように思います。



Naito Makoto  
内藤 誠  
シニア・アナリスト

私も昔サッカー少年でした。小学校の時のある大会の決勝戦、延長戦でも試合決まらずPK戦で私の蹴る順番まで回ってきました。ゴールの左隅を狙って蹴りましたがポストに弾かれ、「ヤバイ」と思いました。しかし、私が蹴るより早く相手ゴールキーパーが動いたためもう一度やり直しに。もう一度ゴールの左隅を狙ったらまたポストに当たり、結局負けてしまいました。今となっては良い思い出ですが、今でも夢に出てくる苦い思い出でもあります。



Tada Kensuke  
多田 憲介  
アナリスト

子供の頃の夢がサッカー選手でした。思い描いていた「未来の自分」は今まさにカタルで日の丸を背負っていたはずでしたが、実現しませんでした。日々、ビジネスパーソンとしての自分をその「未来の自分」と比較して勝負しています。  
目の前のことに没頭していたら結果として「未来の自分」に勝っていた。そんなタイミングが訪れることを信じ今日も攻め続けます。



Moriyama Haruki  
森山 治紀  
アナリスト

振り返ってみると学校の成績でも部活の試合でもあとちょっとのところ勝ち切れなかったことが多くあります。スペイン戦の堂安選手や三笥選手のここ一番で値千金の仕事をする勝負強さには痺れました。



Matsumoto Ryoga  
松本 凌佳  
アナリスト

シャッフルしたトランプ52枚の並びを覚える競技会に初めて参加した時のことです。競技会当日まで1度も成功できずにいたのですが、本番のラストチャレンジで52枚の順番の暗記に成功することができました。幼少期から本番で120%の力を発揮できるタイプです。

### 収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。  
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

## 運用メンバーからのメッセージ



Miyake Kazuhiro  
三宅 一弘  
運用本部  
経済調査室長

今の時期は証券会社の調査マンにとって人気アナリストランキングの投票があり、かきいれどきであると同時に憂鬱な季節です。各部門で1位になるか否か、順位で年収、ポジション・雇用など様々な影響が出てきます。私は20年以上挑戦し、結局1位はとれませんでした。残念ではありましたが、調査活動を息長く継続できたことが良かった点でしょうか。



Hashimoto Yuichi  
橋本 裕一  
マーケットエコノミスト

ドイツ戦もコスタリカ戦も、サッカーを観ている人からすると「あるある」だったと思います。実力で勝る方がずっと攻めているのにチャンスを決めきれない。流れが悪い中、相手に少ないチャンスを決められて負ける。視聴者は不穏な空気を感じていたと思います。私のサッカー人生最後の公式戦も、全く同じ負け方をしました。流れの大切さや、同じパターンが繰り返されることなど、スポーツは示唆に富みますね。

## お知らせ

### 【イベント告知】

レオスメンバーが全国各地へ向う「つみたてキャラバン」を開催中！

これから知ろう！投資とつみたての基本



#### 「つみたてキャラバン」とは？

つみたてキャラバンは日本全国につみたて投資の意義を広めたいという想いから、レオス・キャピタルワークスがこの想いに共感いただいた参加パートナーの皆様とともに行なっている活動です。日本全国にレオスのメンバーがお伺いし、つみたて投資について分かりやすくお伝えしていきます。開催日時と会場については、**ひふみ商品サイトのセミナー・イベント欄** (<https://hifumi.rheos.jp/seminar/>) にて随時更新中です。イベントレポートも続々とアップしています！皆様のご参加、心よりお待ちしております！

#### ■つみたてキャラバン特設サイト：

<https://hifumi.rheos.jp/lp/tsumitate-caravan2022/>

■申込方法：参加したい地域・会場を選択し、お申し込みフォームからお申し込みください。

■参加費：無料（事前申込制）

■つみたてキャラバンイベントレポート：

<https://hifumi.rheos.jp/labo/tsumitate-caravan/>

### ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします

またはLINEにて「ひふみ」で検索

#### LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

## ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

### 投資リスク

#### ■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

#### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなる、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の不整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

### 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまでお客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものではありません。

## お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信 (ご参考)	ひふみらいと (ご参考)
商品分類	追加型投信/海外/株式	追加型投信/内外/株式	追加型投信/内外/資産複合
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当り)		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当り)		
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。		換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

## お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信 (ご参考)	ひふみらいと (ご参考)
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.628% (税込)</b> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.078% (税込)</b> を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率0.55% (税込)</b> を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して <b>年率0.0022% (税込)</b> 実質的な負担※：純資産総額に対して <b>年率0.5522% (税込) 程度</b>
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用(信託報酬)を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。			
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) 以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 (それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 受託会社：(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
 (ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
 (ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社  
 販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

## 各ファンドについてのお問い合わせ先

  
 RHEOS CAPITAL WORKS  
 レオス・キャピタルワークス株式会社  
 コミュニケーション・センター  
 電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp  
 受付時間：営業日の9時～17時  
 ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>